

## 聴力

主に、1000Hz（低音域）と 4000Hz（高音域）の聴力を調べます。

### 検査の内容

1000Hz と 4000Hz の音が小さくても聞こえるかを調べます。

### 検査当日の注意

難聴の中には、長年、騒音にさらされたために起きることもあります。

そんな環境にある場合には医師に伝えましょう。



### 検査でわかること

数字で表記される場合、1000Hz では 30dB（デシベル）以下、4000Hz では 30dB 以下であれば異常なしです。

dB とは音圧の単位です。

あるいは次の用語で表記していることもあります。

「所見なし」とは聞こえたという結果です。

「所見あり」とは聞こえていないという結果です。

	基準範囲	要注意	異常
1000Hz	30 以下	35	40 以上
4000Hz	30 以下	35	40 以上

(単位 dB デシベル)

年齢とともに 4000Hz の聴力は低下しますので、高齢者では 40dB 程度聞こえれば異常なしと判定されることもあります。